



光の奇跡VI / プラチナプリント / 25.7×25.7cm

## 増浦行仁展 -GENESIS プラチナ・プリントで蘇るミケランジェロ-

会期：2026年5月15日（金）～5月30日（土）\*5月19日（火）、26（火） 休み

時間：13:00~19:00 \*最終日18:00迄 オープニングレセプション 5月15日（金）17時~19時

H-art Beat Gallery | 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F

この度、H-art Beat Gallery では「増浦行仁展 -GENESIS プラチナ・プリントで蘇るミケランジェロ-」を開催いたします。

1963年東京に生まれた増浦行仁は、18歳で単身パリに渡り、「VOGUE」の伝説的な写真家ギィ・ブルダンや、アンフォルメル旗手今井俊満との出会いを契機に、芸術としての写真を追求してきた。フランスやイタリア、日本の美術館に作品が収蔵され、伊勢神宮や出雲大社の遷宮撮影にも携わるなど、国内外で高い評価を得ている。

本展は、増浦がパリ、フィレンツェ、ローマにて7年の歳月をかけてミケランジェロの彫刻をほぼ自然光のみで撮影した写真集『GENESIS』から厳選された9作品を展覧。増浦が自然光に拘ったのは、電気の無かったルネサンス時代と同じ状態で撮影することで、ミケランジェロと同化し、同じ視点で作品と対峙するためだ。その過程では、教会に差し込む一筋の光がキリスト像を照らすなど、3度の奇跡的な瞬間との邂逅にも支えられている。

また、全ての作品は高度な技術を要するプラチナプリントで制作され、漆黒から純白まで無限とも言える豊かな階調の美しさと、精緻な描写を実現している。増浦とミケランジェロの感性が共鳴して生まれた本展は、美の本質に迫る貴重な機会となる。

弊ギャラリーでは、初めての増浦行仁展の開催となります。この機会に是非ご高覧下さいますよう、皆様のご来廊をお待ちしております。

Director : 西山 勝 Masaru Nishiyama

略歴：

1963 東京生まれ

1981 渡仏

1987 サロン・ドートンヌ入賞

1987～88 ルーブル美術館、オルセー美術館の撮影許可取得

1994 ミケランジェロ作品撮影開始

1997 ロダン美術館の依頼により、彫刻作品撮影開始

1998 フランス国立図書館に作品31点が永久保存される

2002 写真集『GENESIS』出版（アートン社刊）

2002～03 個展「GENESIS 彫刻家ミケランジェロ」（カーサ・ブオナローティ、通称／ミケランジェロ美術館、イタリア）

2003 「GENESIS ミケランジェロの詩と光彩 増浦行仁写真展」（東京都写真美術館）

2006 伊勢神宮「第62回式年遷宮」撮影開始

2008 出雲大社「平成の大遷宮」撮影開始

2014 個展「『神の宮』伊勢神宮・出雲大社 奇跡の両遷宮 増浦行仁作品展」（ライカギャラリー東京）

「神の宮」作品4点、「GENESIS」作品1点を天皇皇后両陛下に献上

2016 伊勢神宮・出雲大社『神の宮』増浦行仁作品集出版（東京大学出版会刊）

特別展「遷宮 受け継ぐところとかたち・増浦行仁『神の宮』」（島根県立古代出雲歴史博物館）

個展「伊勢志摩サミット開催記念『神の宮』増浦行仁写真展」（三重県立美術館）

2020 パリ市立チェルヌスキ美術館に「神の宮」作品15点が収蔵される

紺綬褒章叙勲

主な収蔵先：

フランス国立図書館、ロダン美術館、マイヨール美術館、ブルデル美術館、パリ市立チェルヌスキ美術館、  
カーサ・ブオナローティ（イタリア）、東京都写真美術館、皇居、首相官邸、出雲大社、岐阜県、三重県、他

主な展示作品：



鏡 / プラチナプリント / 25.7×25.7cm

\*2014年 皇后陛下（現上皇后陛下）に献上された作品



バックカスV / プラチナプリント / 25.7×25.7cm

H-art Beat Gallery

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F | 2-38-20 Tako Bldg. 2F Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051 Japan

Tel. & Fax.: 03-6256-8986 e-mail : gallery@hartbeat.co.jp URL: <https://hartbeat.co.jp> Director : 西山勝 Masaru Nishiyama